

第15回大気化学シンポジウム(2005年1月5 - 7日) プログラム案(12月28日付)

1月5日		13:00	開始	
座長：白井知子(国立環境研)				
13:00	13:20	0:20	植生から放出される揮発性炭化水素の計測 - リーフレベルから群落レベルまでの計測方法の確立に向けて -	谷 晃, 伏見 嘉津裕, 関 和也, 板垣 勇気(東海大学開発工学部)
13:20	13:40	0:20	波照間島における大気中ハロカーボン類の自動濃縮/GC/MS測定と東アジアの影響について	横内陽子, 向井人史, 斉藤拓也(国立環境研)
13:40	14:00	0:20	全球大気輸送モデルで計算した波照間島のHCFC22の濃度	田口彰一(産総研), 横内陽子(国環研)
14:00	14:20	0:20	夜間大気中N2O5の観測研究 - NOx消失に対する影響の評価 -	○松本淳(科学技術振興機構), 小杉如央, 今井秀和, 今川宏介, 西山綾香, 宮川祐子, 井手口真澄, 加藤俊吾, 梶井克純
14:20	14:40	0:20	対流圏大気汚染物質の大陸間輸送及びポーカフラットにおける季節変動	藤原彬充(東理大理・NICT), 香川晶子(NICT・FIP), 笠井康子(NICT), 村山泰啓(NICT)
14:40	15:00	0:20	休憩	
座長：笹野泰弘(国立環境研)				
15:00	15:05	0:05	特別セッション「日本の地球観測戦略」 趣旨説明	笹野泰弘(環境研)
15:05	15:40	0:35	地球観測の推進戦略について - 全体説明 -	北川浩之(総合科学技術会議事務局)
15:40	16:05	0:25	分野別推進戦略 - 地球温暖化関連 -	井上 元(環境研)
16:05	16:30	0:25	分野別推進戦略 - 対流圏大気 -	秋元 肇(地球フロンティア)
16:30	16:55	0:25	分野別推進戦略 - 成層圏大気 -	中根英昭(環境研)
16:55	17:05	0:10	総合討論	
17:05	17:20	0:15	休憩	
座長：宮崎雄三(東大先端研)				
17:20	17:40	0:20	汚染気塊中の一酸化炭素の酸素同位体比：発生源推定指標としての有用性の検証	中川書子(北大院理), 角皆 潤(北大院理), 小松大祐(北大院理), 金龍元(IARC/UAF), 田中教孝(IARC/UAF)
17:40	18:00	0:20	GLIセンサーの紫外波長観測データを用いた黄砂の推定と検証	山中のり子, 久慈誠, 林田佐智子(奈良女子大), 安井元昭(情報通信研究機構), 内山明博, 山崎明宏, 青木輝夫(気象研究所)
18:00	18:20	0:20	夏季から秋季にかけての黄砂事例	牧田広道(鳥取地方気象台)
18:20	19:20	1:00	大気化学研究会 運営委員会	

1月6日		9:00		
座長：持田陸宏(北大低温研)				
9:00	9:20	0:20	イソレン分解生成物のエアロゾル成分としての寄与：観測と計算	松永壮(都立大工・NCAR), Christine Wiedinmyer, John Orland, Alex Guenther, Thomas Karl, Jim Greenberg (NCAR/ACD), 梶井克純(東大工)
9:20	9:40	0:20	黒色炭素エアロゾルの雲凝結核特性	茂木信宏, 近藤 豊, 駒崎雄一, 竹川暢之, 宮崎雄三(東大先端研), Darrel Baumgardner, Gregory L. Kok(Droplet Measurement Technologies, Inc.)
9:40	10:00	0:20	東京における水溶性有機物(低分子ジカルボン酸・ケトン酸・ジカルボニル)の二次的生成：2003/2004年夏の観測結果	河村公隆, 渡辺智美, 持田陸宏, 奥沢和浩, James Bendle, Harbo Wang(北大低温研), 朝野晃司, 小池真(東大理), 近藤豊, 駒崎雄一, 竹川暢之(東大先端研)
10:00	10:20	0:20	AMSで観測された東京における1次および2次有機エアロゾルの濃度変動	竹川暢之, 近藤 豊, 宮川拓真, 駒崎雄一, 宮崎雄三(東大先端研)
10:20	10:40	0:20	休憩	
座長：金谷有剛(地球フロンティア)				
10:40	11:00	0:20	春季福江島と沖縄辺戸岬で観測したエアロゾル化学成分の比較	高見昭憲(環境研), 三好猛雄(環境研), 下野彰夫(三友プラントサービス), 畠山史郎(環境研)
11:00	11:20	0:20	1996-2002年における東アジアの対流圏NO2量の増加トレンド - GOMEデータの解析 -	入江仁士, 須藤健悟, 秋元肇(地球環境フロンティア), A. Richter(Bremen Univ.), T. Wagner, S. Beirle(Heidelberg Univ.), M. Wenig(NASA/GSFC), 近藤豊(東大先端研), V.P. Sinvakov(Kyrgyz Nat. Univ.), and F. Goutail(CNRS)
11:20	11:40	0:20	春季西太平洋域におけるオゾンの光化学的生成(人為的窒素酸化物の輸送とその影響)	大島 長, 小池 真(東大理), G. Chen(NASA Langley), 近藤 豊, 竹川暢之, 宮崎雄三(東大先端研), D.R.Blake(University of California-Irvine), 白井知子(環境研), 北 和之(茨城大理), 川上修司, 小川利紘(JAXA/EORC)
11:40	12:00	0:20	対流圏オゾン化学・エアロゾル・気候の過去/現在/将来: IPCC 第4次報告書に向けた化学・気候結合シミュレーション	須藤健悟(地球環境フロンティア), 高橋正明(東大・気候センター), 秋元肇(地球環境フロンティア)
12:00	13:15	1:15	昼食	
座長：竹川暢之(東大先端研)				
13:15	13:20	0:05	特別セッション「大気化学と気候の相互作用」 趣旨説明	竹川暢之(東大先端研)
13:20	13:55	0:35	大気エアロゾルの物理・化学的特性とその気候影響：組成解析および吸湿性測定の結果から	持田陸宏(北大低温研)
13:55	14:30	0:35	東アジアにおける雲・エアロゾル・日射量の長期変動について	早坂忠裕(総合地球環境学研究所)
14:30	14:40	0:10	休憩	
14:40	15:15	0:35	数値モデルにおける気候と大気化学の相互作用	永島達也(環境研)
15:15	15:50	0:35	南極オゾンホール力学	佐藤 薫(極地研)
15:50	16:00	0:10	総合討論	
16:00	16:40	0:40	大気化学研究会 会員総会	
16:40	19:00	2:20	ポスターセッション (全ポスター展示, 奇数ポスター説明)	
19:00	21:00	2:00	懇親会	

1月7日		9:00		
座長：村田功(東北大院環境)				
9:00	9:20	0:20	成層圏オゾンの光分解によるO(1D)生成 - NASA/JPLの推奨データが確定していなかった波長域での量子収率の決定 -	高橋けんし, 西田 哲, 竹谷文一, 松見豊(名大院理・名大STE研)
9:20	9:40	0:20	南米子リにおける水蒸気同位体観測とマイクロ波放射計を用いた水蒸気観測網計画	水野 亮, 長濱智生, 前澤裕之, 桑原尚久(STEL), 森平淳志(富士通VLSI)
9:40	10:00	0:20	Odin/SMRを用いて観測した水蒸気同位体のグローバル分布	笠井康子(1), J. Urban(2), N. Loutie(2), P. Reacid(3), D. Murtagh(2) and the Odin/SMR retrieval group, (1)NICT (2)Chalmers University of Technology, Sweden (3)Universite Paul Sabatier, France.

10:00	10:20	0:20	2001年2月14日のヨーロッパ上空の小さなオゾン全量の事例解析	志鉢繁(気象研)、宮川幸二(高層台)、牧野行雄(函館海台)
10:20	10:40	0:20	休憩	
			座長: 杉田考史(国立環境研)	
10:40	11:00	0:20	北半球夏季のオゾン場に見られる西進波について	河本 望(JAXA/EORC)、廣岡俊彦(九大院・理)、渡辺真吾(地球フロンティア)、岩尾航希(東大・気候システムセンター)
11:00	11:20	0:20	北極域夏季におけるオゾン波状構造年々変動の解析	吉識宗佳、秋吉英治(国立環境研)
11:20	11:40	0:20	大気球面形状の考慮がオゾンホールに与える影響の化学・放射・力学相互作用	黒川純一(富士通 FIP)、秋吉英治、永島達也、中根英昭(環境研)、増永浩彦(コロラド州立大)、中島映至、高橋正明(東大気候システム)
11:40	12:00	0:20	化学輸送モデルと時間間値解析法を用いた北極渦内オゾン破壊の極渦外への影響の解析	秋吉英治、菅田誠治、吉識宗佳、杉田考史(国立環境研)
12:00	13:10	1:10	昼食	
			座長: 滝川雅之(地球フロンティア)	
13:10	13:30	0:20	全球化学輸送モデルを用いたオゾン分布季節変動要因の解析	宮崎和幸、岩崎俊樹(東北大院理)、柴田清孝、出牛真(気象研究所)
13:30	13:50	0:20	20km格子全球大気モデルにおける中緯度の成層圏対流圏物質交換	水田亮(AESTO/気象研)、吉村裕正(気象研)、大内和良(AESTO/気象研)、野田彰(気象研)
13:50	14:10	0:20	MJ98-CTMで再現されたQBOにおける大気場と化学種の位相関係	柴田清孝、出牛真(気象研)
14:10	14:30	0:20	大気科学観測小型衛星搭載用紫外可視イメージャの検討	吉田重臣、鈴木睦、奥村真一郎、小川利紘(JAXA/EORC)
14:30	16:30	2:00	ポスターセッション(全ポスター展示、偶数ポスター説明)	

ポスター発表

1	二酸化炭素誘導ラマン散乱を用いた差分吸収ライダーによる対流圏オゾン観測	中里真久、廣瀬保雄、永井智広(気象研)、酒井哲(名大)、片野元(科学技術振興事業団/気象研)
2	中国およびシベリアの観測結果から見た東アジアのオゾン汚染	ボチャナート バクボン(FRCGC/JAMSTEC)、秋元 肇(FRCGC/)
3	CMAQを用いた東アジア域におけるオゾンのシミュレーション	山地一代(FRCGC/JAMSTEC)、大原利真(国立環境研)、鶴野伊津志(九大応力研)、黒川純一(富士通エフ・アイ・ビー)、秋元肇(FRCGC/JAMSTEC)
4	Surface ozone seasonal maximum over East Asia: observation and model's results	朱彬、秋元 肇、 FRCGC (地球環境フロンティア研究センター)
5	対流圏 O3・CO 全球分布の各ソース域による分離: 汚染物質はどこから、どれくらい流れてくるか?	須藤健悟、秋元肇(地球環境フロンティア)、高橋正明(東大・気候センター)
6	北関東域での地表オキシダントのトレンドと増大要因	小砂ひかり、北和之、畠山史郎(国立環境研)
7	熱帯域対流圏オゾンの増大と中緯度LS/UT域からの輸送	林ひとみ、北和之、蛭谷留美子(茨城大)、田口彰一(産総研)
8	インドシナ上空でのオゾンの増大の原因	佐藤弘樹、北和之(茨城大)、荻野慎也(神戸大)、清水厚、杉本伸夫(国立環境研)
9	バックトラジェクトリーを利用した東アジアの炭化水素排出比の推定	倉田学児、北田敏廣(豊橋技科大)
10	東アジアにおけるNMHCsおよびハロカーボン類の放出の特徴	白井知子、鈴木愛美、横内陽子(国立環境研)、IMPACT science team, PEACE science team
11	富士山で観測された大気中の硫化カルボニルの鉛直分布	片山葉子、加藤広海、宮地和歌(農工大)、五十嵐康人、高橋 宙(気象研)、土器屋由紀子(江戸川大)
12	SEEDS-II 航海で観測された大気・海中の硫黄化合物(速報)	永尾一平(名大環境学)、植松光夫(東大海洋研)
13	都市大気起源SO2、及びNOxの酸化に関して 雲がもたらす影響の評価-PEACE-C航空機観測-	阿部桃子、近藤豊、宮崎雄三、竹川暢之、駒崎雄一、桑田幹哲(東大先端研)、畠山史郎(国立環境研)、小池真(東大理)、北和之(茨城大理)、R.J.Weber(Georgia Institute of Technology)、倉田学児(豊橋技科大)、白井知子(国立環境研)、小川利紘(JAXA/EORC)
14	航空機観測キャンペーン PEACE-C 期間中の長距離輸送の影響について	滝川雅之、須藤健悟、秋元肇(地球フロンティア)、高橋正明(東大CCSR)
15	航空機搭載紫外分光リモート・センサによる三宅島上空のSO2観測: ガス気柱量推定値の放射伝達計算への依存性の検討	渡辺征春、奥村真一郎、鈴木睦、小川利紘(JAXA/EORC)、畠山史郎(環境研)
16	SEED 鉄散布航海での大気中微量気体成分測定	加藤俊吾、巨理真代、梶井克純(都立大工)、植松光男(東大海洋)、永尾一平(名大院環境)
17	富士山頂で観測された7Beと222Rnの季節変動	五十嵐康人(気象研地球化学)、吉岡勝廣(島根県)、小村和久(金沢大)、高橋宙(気象研環境・応用)
18	立山における微量気体成分(O3, NOx, SO2)および霧水・降水中の化学成分濃度の測定	渡辺幸一・若井亜弓美・吉久真弘・西野 幹(富山県立大・短大部)・朴木英治(富山市科学文化センター)
19	2004年1-2月 IMPACT IV観測: 東京都市大気におけるOH、HO2ラジカル濃度測定とモデルによる収支解析	金谷有剛(FRCGC/JAMSTEC)、曹仁秋(東京ダイレック)、秋元肇(FRCGC/JAMSTEC)、横内陽子(国立環境研)、小池真(東大理)、福田真人、竹川暢之、駒崎雄一、近藤豊(東大先端研)、IMPACT研究チーム
20	OHラジカル寿命観測による都市大気質の診断	吉野彩子(都立大院工)、定永靖宗(国立環境研)、渡辺敬祐、加藤俊吾、宮川祐子(都立大院工)、松本淳(科学技術振興機構、都立大院工)、西山綾香、秋山成樹、梶井克純(都立大院工)
21	L I F法を用いた大気中HOxラジカル濃度測定装置の開発および実大気測定への応用	吉岡篤史(都立大院・工)、宮本和明(都立大・工)、定永靖宗(環境研)、加藤俊吾、梶井克純(都立大院・工)
22	小型航空機による二酸化炭素・メタンの鉛直分布観測	須藤洋志(国環研)、山本昌則(地球・人間環境フォーラム)、小松宏之、井上元(国環研)
23	日本上空における大気中水素濃度の長期観測	町田敏暢(国立環境研)、渡井智則(GEF)、遠嶋康徳(国立環境研)、矢澤建司(JAXA)、福垣敏治(JAXA)
24	都市域における揮発性有機化合物の動態~一次発生源の寄与と光化学的生成~	朝野晃司、小池真、松井仁志(東大院・理)、横内陽子(環境研)、駒崎雄一、近藤豊、竹川暢之(東大先端研)
25	都市域および郊外における窒素酸化物の挙動に関する研究(2004年夏季広域観測結果報告)	福田真人、近藤豊、駒崎雄一、竹川暢之、森野悠、宮川拓真(東大先端研)、谷本浩志(国立環境研研究所)
26	大気中半揮発性化合物のガス・エアロゾル分配	松永社(都立大工・NCAR/ACD)、加藤俊吾、吉野彩子、梶井克純(都立大院工)、Jim Greenberg、Alex Guenther (NCAR/ACD)
27	北部北太平洋における海霧の粒径分布と化学成分の特徴	吉田健太郎、成田 祥、Frank Griessbaum、植松 光夫(東大海洋研)
28	PILSを用いた都市大気中における水溶性有機エアロゾル(WSOC)の高速測定	宮崎雄三、近藤 豊(東大先端研)、Rodney J. Weber (Georgia Institute of Technology)、駒崎雄一、竹川暢之(東大先端研)
29	春季東アジア域における人為起源ブラックカーボンの輸送効率	松井仁志、小池 真(東大理)、近藤 豊、竹川暢之(東大先端研)、北 和之(茨城大理)、大島 長(東大理)

30	都市、および郊外における硝酸のガス・エアロゾル分配比の比較	森野悠、近藤豊、駒崎雄一、竹川暢之、福田真人、宮川拓真(東大先端研)、北和之(茨城大)
31	2004夏季駒場・駒西集中観測 : フィルターサンプリングOC/EC分析結果	出口清児、近藤豊、駒崎雄一、竹川暢之、宮崎雄三(東大先端研)
32	冬季都市域における黒色炭素粒子の観測とその解析結果	原伸樹、近藤豊、駒崎雄一、竹川暢之、宮崎雄三、茂木信宏
33	東京都における元素状炭素、有機性炭素の挙動	野上道守、近藤豊、駒崎雄一、竹川暢之(東大先端研)
34	関東域におけるBlack Carbonのサイズ分布測定	児玉大輔、近藤豊、駒崎雄一、竹川暢之、宮崎雄三(東大先端研)
35	都市大気エアロゾルの雲凝結核能測定	桑田幹哲(東大先端研) 持田陸宏(北大低温研) 近藤豊(東大先端研) 駒崎雄一(東大先端研) 竹川暢之(東大先端研) 宮崎雄三(東大先端研) 中村育代(東大院理)
36	北海道利尻島における大気粉塵中微量元素および水溶性イオン成分濃度の長期連続観測(2001-2003)	奥田知明、里泰志、横地玲、天目真樹、田中茂(慶應大・理工)
37	2004年春季 黄砂エアロゾルのリアルタイム化学組成分析	竹内厚裕、高橋けんし、松見豊(名大院理・名大STE研)、杉本伸夫、松井一郎、清水厚(国立環境研)
38	半導体レーザーを用いた大気NO2の計測装置開発	竹谷文一、高橋けんし、松見豊(名大院理・名大STE研)
39	対流圏における塩素原子とアルコールの反応	竹谷文一、高橋けんし、松見豊(名大院理・名大STE研)
40	O(1D)と大気成分との反応の速度定数の新しい計測法による見直し	竹内ゆかり、高橋けんし、松見豊(名大院理・名大STE研)
41	微小液滴の反応吸収機構の解明	真船 仁志、原野 安土、宝田 恭之(群大工)
42	単一エアロゾルの反応速度測定法の開発	伊藤 隆洋、原野 安土、宝田 恭之(群大工)
43	気象条件を考慮したバイオマス燃焼実験手法の開発	藤本阿沙美1、須藤重人1,2,3、山田桂大1,2、八木一行3、吉田尚弘1,2,4(1東工大総理工、2科学技術振興機構、3農環研、4東工大フロンティア創造セ)
44	大気中のNO3ラジカルおよびN2O5分子の高感度リアルタイム計測装置の開発	西田哲、中山智喜、高橋けんし、松見豊(名大STEL)
45	CF3CHO大気化学反応の理論化学計算	瀬戸口修、佐藤優(産総研)
46	赤外帯域でのエアロゾルのキャラクタリゼーション - 3波長帯域での消光観測で組成、粒径、濃度が分かる。室内実験から見えてきた観測方法 -	佐藤 優、瀬戸口修、山田耕一(産総研)
47	上部対流圏でのH2O2光分解におけるH原子生成過程	中山智喜、高橋けんし、松見豊(名大院理・名大STE研)
48	成層圏および中間圏における窒素原子の反応に関する研究	中山智喜、高橋けんし、松見豊(名大院理・名大STE研)
49	近赤外吸収分光法を用いた H02-H2O 錯体平衡定数の測定とH02-H2O の速度論	菅野望(東大院工)、戸野倉賢一(東大環安研セ)、手崎衆(東大院工)、越光男(東大院工)
50	成層圏条件下におけるClO + NOの反応の研究	星野洋輔、伊藤有輝、江波進一、橋本訓、川崎昌博(京大院工)
51	夜間の活性ヨウ素化合物の新たな生成経路の発見: NO3ラジカルとよう化メチルの反応の測定	中野幸夫、石渡孝(広島市大・情報科学)
52	シクロヘキセンのオゾン分解で生成する二次有機粒子のHPLC/MS分析	佐藤圭、李紅、畠山史郎、今村隆史(国環研)
53	CF4プラズマ中の時間分解赤外発光分光	熊沢亮一、渡辺猛(東レリサーチセンター)、濱陽一、川口健太郎(岡山大理)
54	室温におけるCH4、+3帯・+4帯の吸収線強度と圧力による広がり特性	藤枝 鋼(気象研)、深堀正志(気象研)、渡邊猛(東レリサーチセンター)
55	二酸化炭素の15ミクロン帯における吸収線パラメータの測定	深堀正志、藤枝 鋼(気象研)、熊沢亮一、渡邊 猛(東レリサーチセンター)
56	インドネシア(ワトコセ)におけるオゾンゾンデ長期観測結果	柴崎和夫(國學院)、川上修司・佐野琢己・小川利紘(JAXA)、藤原正智(北大地球環境)、Ninong Komala・Slamet Sarasriya・Agus Suripto(LAPAN)
57	モデルで再現された QBO の2次子午循環とオゾン場の関係	出牛真、柴田清孝(気象研)
58	中層大気化学微量成分の11年周期太陽シグナルにおける応答遅延の特徴: MRI/JMA98-CTMとERA-40を用いたシミュレーション実験	関山剛、柴田清孝、出牛真、小寺邦彦(気象研)、J. L. Lean(米国海軍研究所)
59	アラスカ上空で観測された成層圏オゾン他大気微量成分の季節変化とその相関	香川 晶子(1,2)、笠井 康子(2)、村山 泰啓(2,3)、Frank Murcray (4)、Nicholas Jones(5)(1. 富士通エフ・アイ・ピー、2. 情報通信研究機構、3. 国立極地研究所、4. Univ. of Denver, 5. Univ. of Wollongong)
60	放射伝達コード(ミリ波・サブミリ波・テラヘルツ波・赤外線)の作成	星野 創、高橋千賀子(富士通エフ・アイ・ピー)、笠井康子、真鍋武嗣(NICT)
61	JEM/SMILES観測誤差解析と地上データ処理系の開発	高橋千賀子(FIP)・笠井康子(NICT)・星野創(FIP)・落合啓(NICT)・辻丸詔(NICT)・鈴木睦(JAXA)・真鍋武嗣(NICT)
62	航空機搭載サブミリ波サウンダASURによる成層圏オゾン同位体の観測	杉本朋世(日本女子大・NICT)、笠井康子(NICT)、星野創(FIP)、高橋千賀子(FIP)、Armin Kleinboehl(ブレーメン大)、Joachim Urban(チャルマス大)、真鍋武嗣(NICT)
63	ILAS-IIバージョン1.4のオゾン・硝酸データ質評価	杉田考史(NIES)、入江仁士(地球フロンティア)、中島英彰、横田達也(NIES)、神沢博(名大環境)、小林博和(電中研)、笹野泰弘(NIES)
64	大気科学観測小型衛星搭載用紫外可視分光計の検討	奥村真一郎、鈴木 睦、渡辺征春、吉田重臣、小川利紘(JAXA/EORC)、北 和之、仲田季寧(茨城大理)
65	FTIR観測によるつくばでのオゾンおよび関連成分の変動	村田 功(東北大環境)、中島英彰、中根英昭(国立環境研)、福西 浩(東北大理)
66	つくばフーリエ分光計を用いた温室効果ガスの近赤外吸収スペクトル観測	森野勇(国立環境研)、大山博史(神戸大院総合人間、国立環境研)、杉本伸夫、中根英昭(国立環境研)、長浜智生(名大STE)
67	母子里・陸別FTIRによるHCl・HFカラム全量の長期変動観測	角口潤一郎、長浜智生(名大STE)